

平成28年度 学年 [中1学年] 教科 [国 語]

科目・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
国語	5	A・B・C	102名	太田
目 標	聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと的能力を身につける。 基礎的な語彙力、漢字能力を身につける。			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	・相手の主張を正しく聞く力。 ・自分の考えや意見を効果的に話す力。	・自分の考えを相手に伝わるように効果的に書く力。	・ものの見方、情景や人物の心情などを的確に読み取る力。 ・豊かな読書生活を確立しようとする態度。	・正確な言語運用力の基礎となる言語知識の習得。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふしぎ」 ・「音を追いかけて」 ・文法「言葉の単位・文節」 ・体験したことを文章にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の表現技法を知り、その効果について考えさせる。 ・登場人物の心情や行動の変化を読み取らせる。 ・言葉の単位を理解させる。 ・自分の体験を振り返り、随筆を書かせる。 ・順序よく文章を組み立てさせる。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・「笑顔という魔法」 ・「ベンチ」 ・読書感想文の書き方 ・文法「文の成分・品詞」 ・「写真と言葉が生み出す世界」 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続表現・文末表現をおさえ、筆者のものの見方や考え方を捉えさせる。 ・自身が読んだ本を友人に紹介し、読書の幅を広げさせる。 ・本から必要な情報を集めるための方法を身につけさせる。 ・写真と文章の関係を考え、読み手に対する効果を考えさせる。
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・フリップを用いて報告する ・「河童と蛙」 ・「オツベルと象」 ・漢字の部首、熟語の構成 ・文法「用言の活用」 ・「蜘蛛の糸」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身がまとめた記事を聞き手に分かりやすく発表する方法を身につけさせる。 ・詩に描かれた情景を想像させ、工夫して音読させる。 ・構成・展開・表現の特徴を捉え、想像の世界を楽しませる。 ・漢和辞典を活用し、漢字に対する知識を深めさせる。 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用を理解させる。 ・近代文学にふれさせ、さらに読書の幅を広げさせる。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・「百年後、千年後の友人であるあなたへ」 ・「物語の始まり」竹取物語 ・「故事成語」中国の名言 ・「電子レンジの発想」 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代との共通点を見つけ、古典に対する興味・関心を持たせる。 ・音読により、古典特有のリズムを味わわせる。 ・訓読の仕方を知り、故事成語について理解を深めさせる。 ・序論・本論・結論の構成に注意して文章を読ませる。
三学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉のゆれを考える」 ・「花の形に秘められたふしぎ」 ・「言葉がつなぐ世界遺産」 ・四季の詩 ・「少年の日の思い出」 ・漢字の音と訓 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と図表を照らし合わせながら、その関連を的確に捉えさせる。 ・問題提起を読み取り、「言葉」が果たす役割について考えさせる。 ・それぞれの詩についてどのようなイメージを想像するか話し合わせる。 ・語り手に着目して作品を読み、その役割や効果を考えさせる。
評価の方法		授業態度・学習意欲・表現力・定期考査・提出物などで評価します。	
学習活動の特徴		講義形式・発表形式・グループ形式など様々な形をとります。	
授業の形態		クラス一斉授業が中心です。	
使用教科書		中学国語1「伝え合う言葉」（教育出版）	
使用副教材		新しい国語のワーク、新国語便覧、新中学問題集、読書ノート、文法ノート、級別常用漢字学習字典	
用意するもの		教科書・ノート・国語辞典・級別常用漢字学習字典・便覧	
備 考		特にありません	